

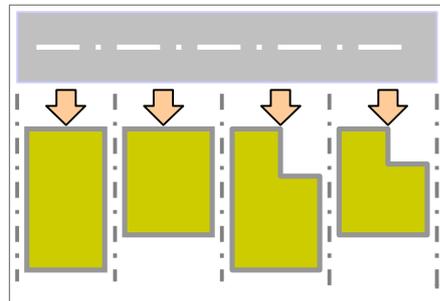
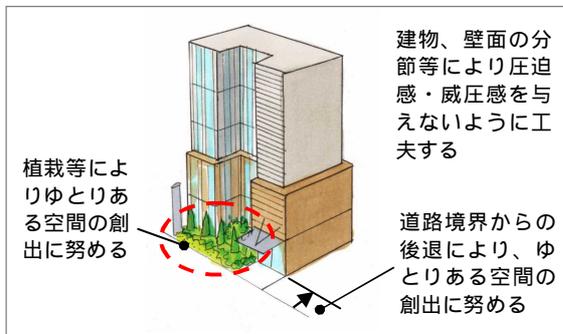
(3) 壁面

通りに接する壁面は、道路境界からの後退や接道部への植栽等によりゆとりのある空間の創出に努め、分節の度合いを工夫することにより圧迫感・威圧感を与えないようにする。

「ゆとりある空間」とは、壁面の後退、低い塀の設置、中木の植栽等により、道路にいる人に圧迫感・威圧感を与えない空間をいいます。(壁面を後退させ、周囲の建物と壁面線の位置を合わせることで統一感のある建物の並びをつくりだすことができます)

心地よさをもたらすため、道路とのつながりを意識した舗装材や植栽する樹種などを選択し、活用することも有効です。

「分節の度合いを工夫する」とは、道路から見える面の2階または3階までのデザインを周辺の建物のデザインと調和させる(デザインの連続性が感じられるようにする)ことをいいます。





敷地の前面に植栽のスペースを連続させて緑豊かな一体感のある空間になっている



セットバックした敷地に、地被類を植栽し、道行く人の足元を演出している



建物に用いられている素材と調和した舗装材を採用して、空間のまとまりをだしている



セットバックした敷地にファニチャーと一体の緑化施設を設けて公共空間として寄与している



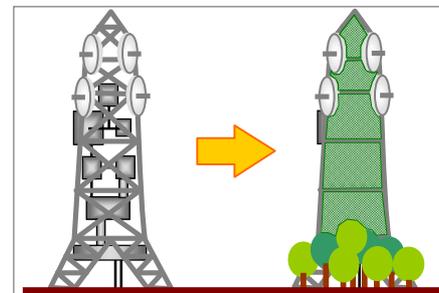
道路空間とアプローチ舗装材を調和させ、公共空間と民有地空間が一体となり美しい空間を創っている



美しく刈り込んだ植栽などを配し、うるおいある空間を創り出している（工場地等）



敷地周辺に緑地をオープンに配し、開放感を創り出している例（工場地等）



工作物に付帯する設備などは、工作物本体との一体化やルーバー・緑化などによる遮へいを施し、目立たないように配慮する

【分棟・分節による大壁面の圧迫感の軽減】

建物を分けることで、周囲の景観と調和させるとともに、単調な印象を防ぐなどの効果があります。



ガラス面を効果的に使用し、デザインを工夫している



建物を分棟して屋根形状を工夫することで圧迫感を解消し、周囲の景観になじませている



中高層部を後退させて周囲への圧迫感を緩和している



間口の広い建物の外壁を縦に分割することにより周辺の建物とのスケール感を調和させている



壁面に横方向にやわらかい印象のラインを入れて、規模の大きな建物が単調な印象になることを防いでいる